学校だより

たかはな

高花平小学校校長通信
平成21．6．11．（木）
No. 6

☆シリーズいじめ・最終回☆ ～いじめの構図～

このシリーズを『学校だより』に載せるのは、ひとまず今回で最終回にしたいと思っています。この間の『学校だより』は、カットや写真が少なくて、やたら字ばかりの読みにくい内容だったと思います。申し訳ありませんでした。でも、時々担任の先生から、『学校だよりを楽しみにしている保護者の方がみえるんですよ。』という話を聞かせてもらうと、嬉しくなります。そんなサポーターの方が一人でも増えるように、これからもがんばります。

いろいろな報道や本で紹介されている『いじめ』の中でも、子どもたちの心に重くのしかかっていく構図として、**『無視』**ということがあります。これは子どもたちにとってかなり厳しい環境を作り出します。何しろ、学級の一部または全員が、話しかけても何も答えてくれない、反応してくれないという状況ですから、精神的におかしくなってしまうのも無理ありません。これが1対1のことであれば、『けんかをしたから、あの子とは口をきかない！』ということは時々あります。でも、周りみんなが自分との関わりを避け、自分が集団の中で孤立してしまったとしたら、それは我慢できるものではないでしょう。中には、ボスのような子が、**『あの子、気に入らないから、みんなで無視しろ！』**というように、周りの子に命令して一人だけを孤立させてしまうようなこともあると、本で読みました。どうして、子どもの心がそこまで曲がってしまうのでしょうか。どうして、そんな卑劣なことができるのでしょうか。私には、子どもの心が病んでいるとしか思えません。何回も同じことを繰り返すようですが、**子どもの心が病んでいるのであれば、周りの大人がちゃんと教えてやらなければなりません**。私自身への戒めも含めて言いますが、やはり大人の行動や発言は子どもに大きな影響を与えます。心して子どもに接しなければならないですね。

---------- 切 り 取 り 線 ----------

（　　）年（　　）組 名前《　　》

A〔　　〕載せない　　B〔　　〕匿名なら載せてもいい　C〔　　〕名前入りで載せてもいい

☆ありがとうございます！☆

前号で『お便り欄』を設けましたら、早速何名かの方からお便りをいただきました。本当にありがとうございます。励ましやらお叱りやら、内容は様々ですが、いただいたお便りには、必ず一つ一つ返事を書かせていただきます。気軽にお便りいただきますよう、よろしくお願いいたします。お叱りのご意見も大歓迎です！お待ちしています。

！！整美委員会は怒っている！！

ご存知の方が多いかもしれませんが、本校には、**整美・放送・広報・保健・体育安全・栽培（生き物）・図書・給食・代表**の9つの委員会があります。その中で、**『整美委員会』**の子たちが、毎日交代で、朝登校した後に校庭のごみを拾ってくれているんですが、最近、その整美委員会の子たちから校長室に次のような訴えがありました。

（1）毎日ごみを拾っているが、ほとんどが《お菓子の袋》や《飲み物のペットボトル》で、学校で出たごみではない。

（2）毎日こんなごみがたくさんあり、困っている。

（3）何とかごみを減らす工夫はないだろうか。

ということです。一生懸命やっている子たちだからこその悩みだと感じました。学校の決まりでは、**『下校後、学校に遊びに来るときも、学校の中でお菓子を食べてはいけない』**となっています。それなのに、子どもたちが嫌になるぐらいのごみが出るということは、**決まりを守ってない子がいるか、小学生以外の誰かが学校の中にごみを捨てていくか、**ということになります。実に困ったことです。学校でも、放課後目を光らせて、ごみを捨てている子どもを目にしたときには、厳しく注意しようと考えています。ご家庭でも、ご指導をよろしくお願いいたします。

---------- 切 り 取 り 線 ----------